

第五章 令達通牒

五百九十六

(本令指定地中奈良縣内ハ削除ノ縣令制定中ニ付單ニ神阪兩地ニ限り御取扱ノコト)
(別表畧ス)

(一六九)警衛發第二百十七號

通牒

明治四十二年四月二十八日

警察部長

横濱市長宛

「ベスト」豫防ニ關シ別紙之通り市内各署長へ通牒セシメ置候ニ付御協議ノ上充分豫防上御盡力相成度候也
(別紙ハ前警衛發第二百十五號ニ付省畧)

(一七〇)神奈川縣令第三十三號

「ベスト」豫防上必要ト認メ横濱市南太田町ヨリ襪、古着、古綿、古紙、古革皮、古羽毛、古麻袋、古俵、古菰、古藁、古繩、古敷物類及掃キ寄セ米穀等ヲ他地方ニ搬出スルコトヲ禁止ス但相當消毒ノ上警察官署ノ許可ヲ得其證明ヲ受ケタルモノ及無病地ヨリ輸入ニ係リ其包装ヲ解カサルモノニシテ警察官署ニ於テ病毒汚染ノ虞ナシト認メタルモノハ此ノ限ニ在ラス
本令ニ違反シタルモノハ科料ニ處ス
本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十二年五月五日

知事

參照 一本令ハ五月二十五日ヨリ横濱市内全部ニ施行スルノ縣令ヲ發ス
一本令ハ本年十月十九日縣令第七十七號ヲ以テ本令廢止

(一七一)示令第三十七號

戶部警察署

今般縣令第三十三號御發布相成候ニ付テハ其消毒方法並ニ取扱ニ關シテハ明治四十年示令第四十八號同第四十八號ノ二ニ依リ取扱フヘシ但古俵古藁及古繩ハ蒸氣若ハ煮沸消毒ヲ行フヘシ

明治四十二年五月五日

警務長

(一七二)神奈川縣令第三十八號

明治三十九年三月神奈川縣令第十四號倉庫取締規則第一條中古俵ノ中ニ「蛹、紙屑、古綿、古藁、古繩、及古」ノ十一字ヲ加フ

明治四十二年五月十四日

知事

(一七三)神奈川縣令第三十九號

明治三十五年十月縣令第六十三號第一項中横濱市内ノ下「横須賀市内及橋樹郡子安村、保土ヶ谷町、矢崎村、宮川村」ノ二十三字及第二項中「刑法第四百二十六條第四號ニ依リ」ノ十五字ヲ削除ス

明治四十二年五月十四日

知事

(一七四)訓第五百十九號

其市ニ於テ「ベスト」病流行ノ虞アルニ依リ傳染病豫防委員ヲ設置シ檢疫豫防ノ事ニ從ハシムヘシ但委員ノ氏名ハ當廳及市内各警察署ニ報告スヘシ

明治四十二年五月十五日

知事

第五章 令達通牒

五百九十七

參照明治四十二年九月訓第二百二十三號ヲ以テ廢止

(二七五) 神奈川縣告諭第一號

「ペスト」豫防上鼠族驅除ノ極メテ緊要ナルハ今更絮説ヲ要セス從テ各般ノ除鼠方法ハ將來益々勵行スヘキコトニ屬ス而シテ猫畜ノ飼養ハ方法簡易ニシテ而カモ其實効ノ著シキモノアリ故ニ橫濱市ノ如キ海港地及内外ノ「ペスト」有病地ニ交通アル地方ニ於テハ勿論其他ノ地方ト雖モ可成平時ヨリ猫種ヲ撰擇シ遍ク之ヲ飼養シ又有病地等ニ交通スル船舶ニ於テハ其噸數石數等ニ應シ相當數ノ猫畜ヲ飼養シ以テ諸他ノ豫防方法ト相竣テ「ペスト」豫防ノ効ヲ收ムルコトニ注意スヘシ

明治四十二年五月十八日

知事

(二七六) 神奈川縣令第四十一號

明治四十二年五月神奈川縣令第三十三號中橫濱市ノ下「南吉田町」ノ四字ヲ削除ス
本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十二年五月二十五日

知事

(二七七) 警衛發第三百三十三號

依命通牒

明治四十二年六月二日

警察部長(課長)名

橫濱市長宛

同市内各警察署長宛(水上署ヲ除ク)

古俵古莚等ノ消毒施行ニ關スル件

「ペスト」豫防上必要ト認メ本年五月縣令第三十三號ヲ以テ橫濱ノ市外へ特定貨物ノ搬出ヲ禁セラレタルハ同市以外ノ各地ニ病毒ヲ散蔓セシメサルノ趣旨ニ外ナラサルモ市内ニ於テモ特定物品ノ移轉等ニ付テハ亦相當取締ノ措置ニ出テサルヘカラサルモノト被存候依テ不取敢右特定貨物中古俵、古繩、古吹、古麻袋等ノ最モ病毒傳播ノ虞多キモノト認メラルヘキモノニ限リ當分ノ内左記方法ニ依リ嚴重御取扱相成度候也

記

一 古俵、古繩、古吹、古麻袋等ヲ取扱フ問屋又ハ買集業者ニ對シ消毒未濟ノモノヲ買取ルヘカラサル旨ヲ警察署ヨリ嚴命スルコト

一 米穀商ニ對シテハ警察署ヨリ左ノ命令ヲナスコト

(イ) 前號記載ノ物品ハ一定ノ場所ニ堆積シ置キ相當消毒ヲ爲スニ非サレハ他ニ賣渡シ又ハ搬出スルヲ許サス
(ロ) 古俵、古吹ハ凡二十枚位ニ達シタルトキ其旨市役所(衛生課)ニ申出テ消毒ヲ受クルコト古繩ハ其多寡ニ拘ハラス前記消毒施行ノ都度消毒ヲ受ケ古繩ノミ多量ニアルトキハ凡三十貫匁位ニ達シタル毎ニ其旨可申出コト

(ハ) 麻袋ハ凡十枚位ニ達シタルトキハ隨時市立扇町消毒所ニ持チ行キ蒸氣消毒ヲ受クルコト

一 市ハ毎日通告ヲ受ケタルモノヲ其翌日中ニ吏員及人夫ヲ現場ニ派シ所轄警察署ノ立會ヲ得テ藥物消毒ヲ施行スルコト
一 警察官署ハ米穀商組合ニ命シ左ノ雛形ノ木札ヲ造ラシメ消毒施行ノ都度證印ヲ與フルコト

約	消毒濟ノ證
品名	數量
何々々	何何何
何々々	何何何
何々々	何何何
明治	年
月	日
警察署	烙印

第五章 令達通牒

六百

一 前各號ニ依リ施行上差支アルトキハ市ハ所轄警察官署ト協議シテ部内各適當ノ位置ニ出張所ヲ設クルカ又ハ假ニ消毒所ヲ設ケ漸次良法ヲ選ミ施行上間然スル所ナキヲ期スヘキコト

(二七八)警衛發第三百二十九號

照會

明治四十二年六月二十五日

警察部長(課長)

橘樹郡長(神奈川署長)宛
久良岐郡長(日下分署長)

鼠族驅除ニ關スル件

横濱市ニ於ケル「ベスト」ノ狀況ハ屢々及通報置候通り本年ニ入り發見セル有菌鼠ハ已ニ百十餘頭ニ達シ去ル四月末ニ同患者ノ發生スルヤ其數忽チ十九名ノ多キニ至リ益々病勢ヲ逞フセムトスルノ實況ニシテ同市ハ極力之ガ防遏ニ努メツ、有之候處御部内(安土ヶ谷町及小)ノ如キハ該市ニ接近シ隨テ人又ハ物件ノ出入モ比較的繁劇ニシテ病毒傳播ノ機會モ多カルヘクト被存候ニ就テハ之レガ豫防措置ノ必要有之候ニ付差當リ同町村(下星川佛向阪本和田ノ諸字ヲ除ク)ニ對シテハ鼠族驅除ノ方法ヲ講セシムルハ豫防上最モ捷徑ト存候其方法トシテハ鼠ヲ(横濱市ハ一頭參錢更ニ抽籤ヲ以テ懸賞ヲ付スルモ直ニ)買收セシムル様御督勵之上其結果御回報相成候様致度候也(此標準ニ據リ難キ事情モ可有之ニ付相當代價ヲ以テ)買收セシムル様御督勵之上其結果御回報相成候様致度候也
追テ毎日買收セル鼠ハ翌早朝ニ取纏メ當部ニ送付セシメラレ度候條之亦御訓達相成度右申添候也

(二七九)警衛發第四百三十二號

依命通牒

明治四十二年八月十日

市内各警察署長宛

衛生課長

特定貨物消毒ニ關スル件

客月二日以降施行致來候扇町消毒所外七ヶ所ニ於テ特定貨物消毒ノ件ハ目下ノ狀勢ニ徴シ今十日限り閉鎖候旨市役所ヨリ照會有之候ニ付同意致置候條右御了知相成度尤モ縣令第三十三號ニ依ル特定貨物ノ消毒ハ依然續行スルハ勿論ノ儀ニ候條申添候也

(二八〇)神奈川縣令第六十五號

傳染病豫防法第十九條ニ依リ横濱市ノ全部ニ對シ除鼠的清潔方法ノ施行ヲ命ス當該吏員ニ於テ必要ト認ムルトキハ特ニ消毒方法ノ施行ヲ命スルコトアルヘシ
土地家屋其ノ他建物ノ所有者占有者又ハ管理者ハ當該吏員ノ指示シタル期日及方法ニ依リ施行スヘシ
明治四十二年八月二十四日
知事

(二八一)訓第二百三十三號

横濱市役所

明治四十二年五月訓第五百五十九號ニ依リ其市ニ設置シタル豫防委員ハ之ヲ廢止スヘシ

明治四十二年九月二日

知事

(二八二)警衛發第四百七十二號

通牒

明治四十二年九月三日

警察部長(課長)

横濱市長(市内各警察署)宛(水上署)

容月縣令第六十五號ニ依ル除鼠的清潔法施行標準昨二日各主任會合ノ上別紙ノ通協定致候條右ニ依リ嚴重御施行相成度候也

第五章 令達通牒

六百一

除鼠の清潔法施行標準(九月二日)

- 第一 本清潔法ハ當該吏員監視ノ下ニ個人若クハ衛生組合ニテ施行シ專ラ斃鼠ノ搜索及生鼠捕獲ヲ目的トシ兼テ家屋、倉庫、納屋等ノ内外ニ對シ清潔ヲ期スルモノトス但シ二ヶ月以内ノ新築ニ係リ當該吏員ニ於テ必要ナシト認メタルモノハ此限リニアラス
- 第二 本清潔法ハ可成今回殺鼠劑ヲ配置シタル區域ノ順序ニ依リ施行スルコト
- 第三 施行區域及日割ハ警察署長市長協議ノ上之ヲ定メ警察部ニ報告スルコト
- 第四 從事者一組ニ付警察官吏一名市吏員一名大工一名人夫二名以上ヲ以テ組織シ一組一日ノ施行ハ大約百戸内外ヲ標準トスルコト其組數左ノ如シ

- 伊勢佐木町署 五組以上
- 戸部署 五組以上
- 壽町署 五組以上
- 山手本町署 四組以上
- 加賀町署 二組以上
- 神奈川署 四組以上

前項ノ大工及人夫ハ衛生組合ニ於テ傭入レ其費用ヲ負擔スルコト

- 第五 清潔法施行前家屋内ノ疊、建具、什器及商品等ハ全部屋外ニ搬出シ同時ニ疊及寢具ハ日光ニ曝曬セシムルコト但シ商品等ハ除鼠の清潔法ニ妨ケナシト認ムル場合ハ搬出セサルコトヲ得
- 第六 天井床板ハ必ス其一部ヲ取外シ隈ナク鼠ノ搜索ヲ行ヒタル後塵芥ヲ除去セシメ警察官及市吏員ハ嚴ニ之ヲ検査スルコト
- 第七 畜猫ヲ有シ常ニ除鼠ヲ勵行セリト認ムル家屋ニ對シテハ天井及羽目板ノ検査ヲ省略スルコト
- 第八 羽目板ハ常ニ鼠ノ棲息又ハ出入シタル形跡アル部分ハ悉ク之ヲ取外シ搜索スルコト

押入及其上下戸袋等ハ鼠ヲ搜索シタル後塵芥ヲ除去スルコト

- 第八 流シハ必要ト認ムルトキニ限り其一部又ハ全部ヲ取外シ鼠ノ搜索ヲナスコト
- 第九 穀類、落花生、芋類、乾物類、八百屋、麩屋、麩屋、菓子製造業、鳥獸肉商、古俵、古菰、古麻袋、古綿、襪襪、紙屑等ヲ取扱フ營業者及之等ノモノヲ藏置スル倉庫物置其他常ニ鼠ノ集ルヘキ場所ニ對シテハ羽目板及地層ニ附着セル床板並ニ流シノ一部又ハ全部ヲ取外シ鼠ノ發見ニ努メ鼠穴アリタルトキハ其部分ヲ掘起シテ鼠ノ搜索ヲ爲シ濕潤若クハ不潔ナル部分ハ消毒方法ヲ施行スルコト
- 第十 斃鼠ヲ發見シタルトキハ其部分ヲ昇水又ハ石炭酸水ヲ以テ嚴重消毒ヲ行フコト
- 第十一 清潔法ニ依リ發見セル斃鼠又ハ捕鼠ハ其出所ヲ記シタル木札ヲ附シ毎日午後二時マテニ一ト先取纏メ細菌検査係ニ送付シ其ノ後ノ分ハ翌朝マテニ送付スルコト
- 第十二 清潔法ニ依リ蒐集シタル塵芥其他ノ不潔物ハ必ス一定ノ場所ニ搬出スルコト

(一八三)神奈川縣令第六十九號

傳染病豫防法第十九條第九號ニ依リ鼠族驅除ニ關スル規程左之通り之ヲ定ム

明治四十二年九月十日

鼠族驅除ニ關スル規程

知

事

第一條 左ニ列記セル營業者ハ本令ノ規定ニ從ヒ除鼠ノ設備ヲ爲スヘシ但倉庫取締規則ニ明文アルモノハ之ヲ除ク

- 一 米麥(小麥粉及穀類)商及米麥精白業
 - 一 俵、蓆、繩、繩、麻袋、襪襪、紙屑、綿屑、其ノ他屑物業(新製品ニシテ使用前ノ物ノミヲ取扱フ者ヲ除ク)
- 第二條 新ニ營業セムトスル者ハ其營業品ノ置場及取扱場ニ付左ノ事項ヲ具シ着手前所轄警察署ニ届出認可ヲ受クヘシ其改修増築等變更ニ係ルトキ亦同シ

第五章 令達通牒

第五章 令達通牒

六百四

- 一 置場并ニ取扱場ノ位置
- 二 同上構造仕様書及圖面(平面圖及之ニ隣接セル間取圖)
- 三 營業品ノ種類

他人ノ營業場ヲ讓リ受ケ營業スルモノハ業務開始後十日以内ニ所轄警察官署ニ届出ツヘシ

第三條

營業品ノ置場及取扱場ノ構造ハ左ノ制限ニ從フヘシ

- 一 倉庫、納屋、物置藏ハ倉庫取締規則第三條各號ヲ準用ス
- 二 家屋ノ一部ヲ充用スルモノハ倉庫取締規則第三條第一號及第六號ヲ準用シ且内部側壁ハ地盤ヨリ高五尺以上(出入口ハ地盤ヨリ數居マテ又戸扉アルモノハ其ノ内部五尺以上マテ)迄金屬板ヲ間隙ナク張詰ムルコト但シ防鼠上適當ト認ムル構造ニアリテハ此限リニアラス

第四條 第二條ニ依ル營業品置場又ハ取扱場ノ新營又ハ改修増築等ノ場合ニ其ノ工事落成シタルトキハ所轄警察署ニ届出使用ノ認可ヲ受クヘシ

第五條

已ニ認可ヲ得タル營業品置場又ハ取扱場ニシテ破損其ノ他ノ事由ニ據リ當該官廳ニ於テ構造不適ニ至

リタリト認ムルトキハ方法及日時ヲ指定シ之ガ修理ヲ命スルコトアルヘシ

第六條

第一條ノ營業ヲ廢止シタルトキハ五日以内ニ所轄警察官署ニ届出ツヘシ

第七條

第一條ニ該當スヘキ現在ノ營業者ハ本令施行ノ日ヨリ十五日以内ニ第二條ノ事項ヲ具シ所轄警察官署ニ届出ツヘシ

第八條

現在ノ營業品置場又ハ取扱場中第三條ノ制限ニ適合セサルモノニシテ第一號ニ係ルモノハ本令施行ノ

日ヨリ一箇年以内第二號ニ係ルモノハ五箇月以内ニ改築若クハ修理スヘシ

當該吏員ノ特ニ必要ト認メタル場合ハ前項期間内ト雖モ一定ノ期間ヲ定メ第三條ノ制限ニ依ラシムルコト

第九條

營業品ノ置場又ハ取扱場ニハ常時相當ノ捕鼠器ヲ設備シ鼠族ノ驅除ヲ行フヘシ

第十條

左ノ事項ノ一ニ該當スルトキハ營業品ノ藏置又ハ取扱ヲ停止スルコトアルヘシ

一 第五條ニ依リ當該官廳ノ指示シタル命令ニ從ハサルトキ

二 第八條第一項若クハ第二項ノ指示期間ニ改築若クハ修理セサルトキ

第十一條

本令第二條第四條第六條第七條第八條第一項及第九條ニ違反シ又ハ第五條及第八條第二項ニ依ル當

該官廳ノ命令ニ從ハサル者若ハ第十條ニ依リ停止中營業品ヲ藏置シ又ハ其取扱ヲ爲シタル者ハ拘留又ハ科料ニ處ス

第十二條

第一條指定ノ營業者ガ未成年者又ハ禁治産者ナルトキハ本則ニ依リ之ニ適用スヘキ罰則ハ之ヲ法定

代理人ニ適用ス但シ其ノ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限リニアラス
前項營業者ハ其代理人、戶主、家族、同居者、雇人其他ノ從業者ニシテ其業務ニ關シ本則ニ違背シタルトキハ自己ノ指揮ニ出テサルノ故ヲ以テ處罰ヲ免カル、コトヲ得ス

法人代表者又ハ其雇人其他ノ從業者法人ノ業務ニ關シ本則ニ違背シタル場合ニ於テハ本則ニ規定シタル罰則ヲ法人ニ適用ス

法人ヲ罰スヘキ場合ニ於テハ法人ノ代表者ヲ以テ被告人トス

附 則

第十三條

本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

第十四條

本令ハ横濱市及久良岐郡大岡川村ノ内字蒔田、同永田、同堀内、同下大岡、屏風ヶ浦村字岡村、同

龍頭、同磯子、橋樹郡保土ヶ谷町ノ内字神戸、同岩間、同保土ヶ谷、同惟子、子安村ノ内字子安ニ限リ之ヲ施行ス

(一八四) 示令第六十五號

第五章 令達通牒

警察署長

六百五

警察分署長

神奈川縣令第六十九號ヲ以テ「ベスト」豫防ノ爲メ鼠族驅除ニ關スル規程ヲ設定セラレタルニ依リ之レガ執行手續左ノ通心得ラル可シ

第一條 規程第二條ノ届出ヲ受理シタルトキハ其構造方法ノ適法ナリヤ否ヤヲ調査シ不適ノ個處アラハ之レガ訂正ヲ命スヘシ

第二條 規程第四條ニ依リ工事落成ノ届出アリタルトキハ警部若ハ主任巡查部長ヲ臨檢セシメ其構造方法ノ適當ナリヤ否ヤヲ調査セシムヘシ

第三條 警察署ニ別記様式ノ臺帳ヲ備ヘ置キ規程第二條第四條乃至第七條其他記入事項ニ異動アリタルトキハ其都度記入スヘシ

第四條 一ヶ月ニ少クモ二回以上主任巡查部長ヲシテ營業者ノ店舗ニ臨檢シ建物ノ破損其他構造上ノ監査ヲ爲サシムヘシ

第五條 規定第十條ノ處分ヲ必要ト認ムルトキハ其事情ヲ具シ稟議ノ上處分スヘシ
明治四十二年九月十日 警務長

(規程第三條一號)

何 商

何町何丁目何番地 何某

- 一 置場取扱場位置
- 一 同上倉庫納屋物置家屋内ノ別
- 一 構造概要
- 一 使用認可年月日
- 一 改修命令年月日及事故

- 一 同上始末
- 一 藏置及取扱停止命令
- 一 捕鼠器設備
- 一 異動年月日及事故

備考 (前項以外ニ必要事項)

(二八五)神奈川縣令第七十七號

明治四十二年五月神奈川縣令第三十三號ハ明治四十二年十月二十九日限り之ヲ廢止ス

明治四十二年十月二十九日

知

事

附 錄

(内務大臣ノ訓令並ニ衛生局長通牒)

訓第七百六十一號

神 奈 川 縣

其縣横濱市及橘樹郡子安村ニ「ベスト」患者續發シ流行ノ兆アルニ就テハ患者發生地及同地ト交通アル地ニ於テハ左ノ各項ニ準シ豫防上注意セラルヘシ

一 鼠族ノ驅除ヲ獎勵シ貨物陸揚場附近停車場附近貨物運送店倉庫船舶等ニ就テハ特ニ斃鼠ノ搜索ヲ嚴行セシムルコト

二 臨時清潔方法ヲ施行セシメ有病地ニ於テハ塵芥ハ必ス之ヲ燒却セルムルコト

第五章 附 錄

- 四 前項ノ場合ニ於テ「ベスト」菌若クハ之ニ疑シキ菌ヲ檢出シタルトキハ必要ト認ムル部分ニ消毒方法ヲ施行シ當分ノ内其附近居住者ノ健康ニ注意セシムルコト
- 五 「ベスト」疑似症ニ對シ傳染病豫防法ノ全部ヲ適用シ又急性病死者ノ届出ニ注意シ必要ト認ムルトキハ當該吏員ヲシテ臨檢セシメ又ハ醫師ヲシテ屍體檢案ヲ行ハシムルコト
- 六 貧民部落、木賃宿、貨物、集散場附近其他必要ト認ムル部分ニハ時々檢病的戸口調査ヲ行ヒ疑ハシキ患者アルトキハ醫師ヲシテ檢診セシムルコト
- 七 有病地ヨリ來リ又ハ其地ヲ經過セル船舶内ノ塵芥ハ勿論同地ヨリ發送スル貨物ヲ積載セル船舶内ノ塵芥ハ一定ノ場所ニ於テ之レヲ燒却セシメ若クハ當分ノ内其陸揚ヲ停止スルコト

明治三十五年十月十一日

内務大臣

神奈川縣

其縣ニ「ベスト」發生尙猖獗ヲ逞フスルノ虞アリ此際機敏周到ナル豫防措置ヲ施行シ之レヲ撲滅スルニアラサレハ其商工業ニ及ホス影響蓋シ測ルヘカラス今般特ニ檢疫費ヲ増加シ檢疫機關ノ増員ヲ計ルノ議ニ決シタル如上ノ旨意ニ外ナラス就テハ充分此意ヲ體シテ嚴ニ督勵ヲ加ヘ豫防救治ヲ全力ヲ注キ萬遺算ナキ様措置セラルヘシ

右訓令ス

明治三十五年十月十三日

内務大臣

衛甲第四號

横濱市海岸通五丁目二十番地ニ於ケル客年ノ「ベスト」流行ハ一旦終熄ノ効果ヲ奏セリト雖該病流行ノ事跡ニ微スレハ何時再發ノ危険ナキヲ保シ難ク且ツ先般防疫方針ニ關シ訓令ノ次第モ有之候ニ付横濱市内及接近ノ町村

ノ不潔部落勞働者ノ居住地等防疫上必要ト認ムル部落ニ對シテハ左ノ各項ニ據リ相當御措置相成度依命此段及通牒候也

- 一 清潔方法ヲ勵行シ鼠族ノ驅除斃鼠ノ搜索ヲ嚴行セシムルコト
- 二 斃鼠ヲ發見シタルトキハ所在附近ニ消毒方法ヲ施行シ更ニ進テ搜索ヲ嚴密ナラシムルコト
- 三 有菌鼠若クハ有菌ノ疑アル斃鼠ヲ發見シタルトキハ其所在及近隣ノ家宅其他病毒汚染ノ虞アル物件ニ對シ嚴重ナル消毒方法ヲ施行セシムルコト
- 四 檢病的戸口調査ヲ勵行シ必要ト認ムル部落ニ對シテハ健康診斷ヲ施行スルコト
- 五 紡績會社其他棉花又ハ紡績製品若クハ襪襪等ヲ取扱フ工場商店ニ對シテハ警察官吏檢疫委員等ノ監督ノ下ニ豫防措置ヲ施行セシムルコト
- 六 樞要ナル停車場乗船場等ニハ警察官吏又ハ檢疫委員ヲ派シ旅客ノ健康視察及構内ニ於ケル豫防措置ノ監督ヲ爲サシムルコト

明治三十六年一月十九日

内務省衛生局長

神奈川縣知事宛

訓第三百四十七號

其縣横濱市ニ於テ從來有菌鼠ノ發見相踵キ尙今回貳名ノ「ベスト」患者ヲ發生スルニ至レリ惟フニ「ベスト」病毒ノ執拗ナル一旦滋蔓シタル根柢ハ之ヲ抜クコト決シテ容易ナラサルヲ以テ嚴密周到ナル豫防措置ヲ執リテ之レガ廓清ヲ計ルニアラスンハ其慘害測リ知ルヘカラス故ニ此際有病區域及其附近ニ對シテハ斃鼠ノ搜索鼠族ノ驅除消毒方法ヲ嚴行セシムルハ勿論日々健康診斷ヲ勵行シ其他ノ注意區域ニ對シテハ檢病的戸口調査ヲ施行シ尙モ異常ヲ訴フルモノアリタルトキハ醫師ヲシテ檢診セシメ又一般ニ鼠族ノ驅除ヲ督勵スル等豫防上遺策ナキ様措置セラルヘシ

右訓令ス

第五章 附錄

明治三十六年五月十八日

神奈川縣知事宛

猫畜飼養獎勵ノ件通牒

内務省四衛甲第九十七號

「ペスト」豫防上鼠族驅除ノ極メテ緊要ナルハ今更絮説ヲ要セス就テハ從來御施行相成居候各般ノ除鼠方法ハ將來勵行セラル、ハ勿論ニ候ヘトモ尙ホ猫畜ノ飼養ヲ獎勵シ以テ鼠族ヲ驅除スルノ必要可有之ト存候而シテ有病地ニ於テハ猫畜ニ依リテ病毒ヲ介達スルノ危険ハ絶對ニ無之ト斷定シ難ク候ヘ共如斯ハ稀有ノ場合ニ屬シ之ヲ豫防上猫畜飼養ノ利益ニ比較致候ヘハ深ク顧慮スルニ足ラスト認メ候然レトモ其既ニ「ペスト」ノ發生ニ及ンテ急遽飼猫ヲ獎勵致候トモ其目的ヲ充分難達義ニ候ヘ共海港地内外ノ「ペスト」有病地ニ交通アル地方ニ於テハ勿論尙其他ノ地方ニ於テモ平時ヨリ可成猫種ヲ撰擇シテ遍ク之ヲ飼養セシメント期シ時宜ニ依リテハ市町村等ヲシテ相當ノ方法ヲ講セシメ又有病地ニ交通スル船舶ニ對シテモ其噸數石數ニ應シ相當數ノ猫畜ヲ飼養セシムル等飼猫普及ノ方法ヲ講セラレ諸他ノ豫防方法ト相俟テ「ペスト」豫防ノ効果ヲ收メ候様御配慮相成度依命此段及通牒候也

明治四十二年一月十五日

報告様式

内務省衛生局長窪田靜太郎

檢第五號

「ペスト」豫防ニ關シ健康診斷及健康視察ヲ爲シタル戸口數ハ當日其施行終了後別表ニ依リ即時報告セラルヘシ
 明治三十五年十月十日
 市內各警察署長宛
 警察部長

(別表)

月日健康診斷及視察施行日報

署

名

區	別	戸數	人口	發見患者ノ數			備考
				眞	正	疑	
健康診斷ヲ爲シタル							
健康視察ヲ爲シタル							

注意

- 一 船舶ハ戸數欄ニ其艘數ヲ掲クヘシ
- 一 本表ハ施行當日以來ノ分ヲ此際進達スヘシ

「ペスト」豫防ニ關シ消毒清潔施行ノトキハ其施行前區域並ニ日時ヲ報告シ尙左記ニ依リ成績報告相成度依命此段及通知候也

明治三十五年十月十一日

衛生課長

市內各警察署長宛

第 號

署

名

月 日施行消毒清潔成績表

區	域	消		毒		清	
		戸	數	何	々	戸	數
交通遮斷區域							

第五章 附錄

豫防區域	區域	戶數	何々	清	何々
	豫防區域	戶數	何々	清	何々
注意區域	區域	戶數	何々	清	何々

檢第百九號

市部警察署

「ベスト」豫防ニ關スル鼠族驅除清潔消毒健康視察等ノ報告方來ル十一月一日ヨリ毎日別紙健康診査報告表外
 二表ヲ調製シ翌日午前九時迄ニ差出スヘシ且從來ノ分ハ着手ノ初日ヨリ本日迄ヲ取纏メ本表ニ準據シ十一月五日迄ニ差出スヘシ

但本月十日檢第五號及同十一日檢第十三號ハ廢止ス

明治三十五年十月三十一日

日健康診査報告表

檢疫委員長 署名

町村名	戸數	人口	檢診ヲ行ヒタル	不在ニテ檢診セサル	患者	疑似患者	注意患者	普通患者	醫師	巡査	氏名
	戸數	人口	戸數	人口							
合計											

備考 記載例船舶一艘ハ一戸トナシ戸數欄ニ記入スヘシ健康診斷ハ朱書ニ健康視察ハ墨書スヘシ
 年 月 日消毒的清潔法成績取調表 署名

町(村)數	戸數	倉庫數	納屋數	施行ニ要シタル藥品名數量及之ニ從事シタル職員人夫
		庫數 坪數		石炭 數量 昇 示 數量 量 職員ノ數 人 夫ノ數
				警官 他吏員

備考 記載例職員數欄ニ他吏員トアルハ市町村吏員豫防委員衛生組合役員ヲ包含ス
 藥品ヲ用ヒスシテ單ニ清潔法ヲ執行シタルモノハ朱書スヘシ
 年 月 日驅鼠成績表 署名

非賣	收數	買收セシ數	累計
投棄函ニ入りシ數	通路其他ニテ發見數		

戸數	藥物配置個數	喫食數	不食數	斃鼠數
----	--------	-----	-----	-----

備考 檢發第八十八號
 今般訓第八十九號ヲ以テ「ベスト」病毒根絶ヲ期スヘキ旨訓令相成候處右訓令ニ依リ市醫ノ健康診査ヲナシタル分ハ翌日午前中別記様式ニ依リ報告相成度此段及照會候也
 明治三十六年五月二十一日 檢疫委員長

横濱市長宛

追テ本文報告ハ本月十五日分ヨリ御差出相成度申添候

(様式) 明治 年 月 日分健康診査報告

所

累計	合計	何町	同 上 ノ 内						「ベスト」豫防報告例別冊ノ通相定メ明治四十年示令第五十七號ハ之ヲ廢止ス			市 醫 師 氏 名	市 醫 師 氏 名	市 醫 師 氏 名	市 醫 師 氏 名				
			町名	戸數	人口	戸數	人口	戸數	人口	患者	疑似患者					注意患者	普通患者	檢診ニヨリ發見シタル	檢診ニ從

示令第五十二號

「ベスト」豫防報告例別冊ノ通相定メ明治四十年示令第五十七號ハ之ヲ廢止ス
 明治四十二年六月十五日

警 察 分 署
 警 務 長

- 通規
- 一 諸表中日報ハ翌日中ニ月報ハ翌月五日迄ニ差出スヘシ
 - 一 水上警察署ニ於テスル舢舨船等ニ關シテハ戸數トアルヲ艘數トシ其ノ他總テ之ニ準據スヘシ
 - 一 報告種別左ノ如シ
 - (イ) 第一號様式ハ發生ノ都度速ニ報告スヘシ
 - (ロ) 第二號、第三號様式ハ關係事實ノ終リタル翌日報告スヘシ
 - (ハ) 第四號様式ハ該當事務終了ノ都度速ニ報告スヘシ

- (ニ) 第五號、第六號、第七號、第十二號及第十三號様式ハ日報トス但シ施行セサルトキハ報告ヲ要セス
 - (ホ) 第八號様式ハ横濱市内ハ日報トシ横須賀市内ハ月報トシ其ノ他ノ警察署分署ハ當分ノ内報告ヲ要セス
- (第一號様式)

第 號「ベスト」患者發生報告

何 警察(分)署

患者住所職業氏名年齢					
發見ノ事由及月日時					
住家及附近ノ狀況					
有菌鼠又ハ疑ハシキ斃鼠ノ有無					
發病月日時及發病前ノ狀態					
遮斷戸數及人口	戸	人	同上ノ内患家	家族	人員
住民隔離場所			收容人員實數		

備考	病毒系統ト認ムヘキモノ		
	豫防區域戸數人口		
	經過及主任醫	初診月日時	診斷日時
		主任醫	
死者ニ付テハ死亡月日時	有	無	氏名

記載例

- 一 患者發生ノ順序ニ依リ番號ヲ付スヘシ
- 一 患者無職ナルトキハ其ノ家族ノ職ヲ記スヘシ患者戸主ト別職業ナレハ各別ニ記スヘシ
- 一 遮斷區域豫防區域及其内外ニ在ル著名ノ建物目標トナスヘキモノヲ現シタル明細圖ヲ添フヘシ
- 一 備考ニハ様式所定事項外ニ參考トナスヘキ事項ヲ詳記スヘシ

(第二號様式)

第一號「ベスト」遮斷區域内豫防事務成績

何警察(分)署

區域ノ位置	戶口數	戶不在者	戶納倉庫	棟棟
	人	人	人	人
除鼠の消毒法ニ従事シタル人員	警察官吏	市町村吏員	人	人
同上開始並ニ終了	月 日開始	月 日終了		
除鼠裝置配置	捕鼠器一日平均數	殺鼠劑一日平均數	個	配置自月 日 至月 日 日間
除鼠數	發生鼠捕見	變鼠發見	個	
飼猫調	猫畜飼養戸數	同上猫頭數		
檢診成績	普通患者	人	注意患者	人
費消シタル消毒藥品ノ種類及概量	石炭酸	生石灰	石油乳劑	人
遮斷ノ執行	昇	日	周圍ノ延長	
備考				

記載例
 遮斷執行ノ順序ニ依リ番號ヲ付スヘシ
 區域ノ位置ハ二以上ノ番地ニ跨ルトキハ各其番地ヲ記入スヘシ
 捕鼠器殺鼠劑ハ規定ノ日數ニ至ル迄ノ總數ヲ記入スヘシ
 除鼠數ハ遮斷執行ヨリ解除ニ至ル迄ノ總數ヲ記入スヘシ
 檢診成績ハ遮斷内ノ健康診斷ヲ行ヒタル成績ヲ記入スヘシ
 備考欄ニハ關係患者ノ氏名ヲ記入スヘシ

(第三號樣式)

「ペスト」(豫防區域内) 豫防事務成績
(有菌鼠發見場所及必要ト認ムル場所)

何 警察(分)署

區域ノ位置	戸口數		倉庫	納屋	除鼠の消毒法ニ從事シタル人員	警察官吏 市町村吏員	捕鼠器 殺鼠劑	一日平均數	延數	配置自 至	月日	日間	除鼠數 斃生鼠	飼 猫 調	費消シタル消毒藥 品ノ種類及概量	檢 診 成 績	備 考	
	大工 人夫	同上																開始 終了
														同上猫頭數			人	人

記載例

- 一 區域ノ周圍ニ亞鉛引鐵板ノ圍障ノ設、否、捕鼠器、殺鼠劑ヲ規定ノ日數配置セサリシトキノ事由又ハ關係「ペスト」患者有菌鼠等ハ備考ニ記入スヘシ
- 一 有菌鼠發見ノ場合ハ消毒區域ヲ距ル約一丁以内ノ戸數及猫數ヲ調査スヘシ
- 一 右ノ外前表(第二號樣式)記載例ヲ準用ス

(第四號樣式)

「其一」

猫畜ヲ飼養スル家ニ「ペスト」患者發見調
有菌鼠發見

何 警察(分)署

區別	發見月日	場 所	概建 數坪	職業氏	名 飼 猫 數
「ペスト患者」					頭
「ペスト有菌鼠」					頭

「其二」

清潔法
 猫畜ヲ飼養スル家ニ除鼠的消毒法施行成績

何 警察(分)署

飼 猫 數 職	業 建 坪 概 數	除 鼠 數
頭		生鼠捕獲 斃鼠發見
頭		同 同
頭		同 同

備考

本表ハ「ペスト」患者何某又ハ何某方有菌鼠發見若ハ特別注意業體ニ關スル消毒施行ノ分ナリ云々又ハ何々ト詳記スヘシ

(第五號樣式)

除鼠的特別消毒法一般清潔 施行成績

計	月 日	施行 月 日	町村名	住家	市場	工場	停車場	貨物 揚卸場	倉庫	納屋	除鼠數

備考 本表ハ特別業體者ニ對シ又ハ何々ニ依リ施行セルモノナリ又ハ何々ト詳記スヘシ

何 警察(分)署

(第六號樣式)

捕鼠器殺鼠劑成績

計	何 々	體 特 別 業 者	發 有 見 菌 所	其 他	區 注 意 域	區 豫 防 域	區 遮 斷 域	町村名	捕鼠器			町村名	殺鼠劑						
									配置 月 日	配置 戸 數	同個 數		配置 月 日	配置 戸 數	同個 數	咬 喰 數			

何 警察(分)署

備考 (參考資料ハ詳記スヘシ)

記載例

- 一 水上警察署ヨリ差出スモノハ戸數欄ヲ船ノ艘數トスヘシ
- 一 捕鼠器、殺鼠劑ノ種類等モ備考ニ記スヘシ

第五章 附錄

六百二十四

(第十號樣式)

「其一」(横濱市内警察署ヨリ差出スモノ)
何月分鼠買収成績

月日	買収數	非買収數	計	何警察(分)署
月 日				
計				備考

「其二」(横濱市以外ノ警察署ヨリ差出スモノ)
何月分除鼠成績

市町村名	除鼠總數		細菌検査ニ付シタル者	同検査ニ付セス焼却シタルモノ	備考
	買収數	非買収數			
計					

(第十一號樣式)

倉庫除鼠成績(何月分)

何警察(分)署

棟數	戸前數	建坪數	餌種類	捕鼠器種類	同上配置延數	捕鼠數	備考
計							

本表ハ倉庫取締規則ニヨル倉庫ノ除鼠成績ヲ掲ク
猫ヲ倉庫ニ放養セルトキハ其數ヲ備考ニ記スヘシ

(第十二號樣式)

定期倉庫掃除成績日數
臨時

何警察(分)署

施行月日	所在地	所有者又ハ管理者氏名	棟數	戸前數	建坪數	殺鼠劑配置		除鼠數
						延日數	延個數	
計								捕鼠 同

備考 一 倉庫取締規則ニヨル定期又ハ臨時ノ掃除施行ノ際差出スモノトス
一 殺鼠劑ノ種類及硫黃薰蒸等ハ備考ニ其旨ヲ記シ又ハ猫ヲ倉庫内ニ放養セルモノハ其數ヲ備考ニ記スヘシ

(第十三號樣式)

「ベスト」豫防接種人員報告

何警察(分)署

施行月日	町村名	區域ノ別	第一回接種人員	第二回接種人員	施術醫氏名	立會又ハ勸誘警察官數	計
計							

一、私立病院又ハ開業醫ニ於テ個人ノ依頼ニヨリ施行シタルモノハ朱書スヘシ

第五章 附錄

六百二十五

防疫顧問會諮問要項

第一回 明治三十六年十一月十二日 諮問案

防疫施設ニ關スル件

周布知事濱田警部長石田衛生課長列席北里、市原、近藤、岡部、朝田、各顧問出席知事ヨリ今回勅令第七十八號ヲ以テ神奈川縣ニ「ペスト」防疫職員ヲ置カレ顧問ヲ設置セラレタルハ病毒撲滅ノ方法及ヒ再發ノ虞ナキ永久の施設ヲ講究スルニアレハ病毒發見以來ノ狀況、既往ニ於テ實施シタル事項並ニ是ヨリ着手セントスル將來ノ防疫計畫等ニ關シ充分意見ヲ開陳センコトヲ望ム旨ヲ告ケ濱田警部長ヨリ患者發生以來有菌鼠發見ノ狀況並ニ清潔法施行ノ次第隔離ノ施行鼠族驅除ノ方法健康診斷等ノ實況ヲ詳述シ各顧問ハ從來ノ防疫ニ關スル諸施設ヲ是認シ將來之レヲ繼續スルコト、シ散會セリ

第二回 明治三十六年十一月十七日

第一號諮問案

「ペスト」豫防上草葺屋根ヲ制限スル件

朝田顧問ヨリ屋上制限規程第三條特別ノ理由アル建造物トハ如何ナルモノヲ云フカノ質問アリ近藤顧問ハ同規程第四條存置期間及經過年數ヲ削除シ第五條改葺年限等ニ就テ意見アリタルモ市原顧問ヨリ棟數等調査ノ必要アル旨發議ニ依リ實地調査ヲ遂クルマテ延期スル事トナリ次回ニ讓リ散會ス

備考

屋上制限規程

第三條 前條ノ規程ニ準據シ難キ特別ノ理由アル建造物ニ就テハ所轄警察官署ノ認可ヲ受クヘシ

第四條 假設ノ建築物ニシテ存置期間一ケ年以内ノモノハ第二條ノ規程ヲ適用セス其一ケ年ヲ過クルモ

ノハ所轄警察官署ノ認可ヲ受クヘシ

第五條 本規程ニ適合セサル現在ノ建造物ニシテ茅又ハ蘆葦ノ類ヲ以テ葺覆セルモノハ明治四十六年十月三十一日迄ニ葺ノ類ヲ以テ葺覆セルモノハ明治四十一年十二月三十一日迄ニ改葺スヘシ

本案ハ第五回顧問會ニ於テ原案修正ノ上議定ス

第三回 明治三十六年十一月二十四日

第二號諮問案

市内各戸ニ於テ毎年冬期煤掃ヲナス習慣ナルヲ以テ此際市内全部ニ對シテ除鼠的清潔法施行ノ件

第三號諮問案

有菌鼠數頭アリタル石川方面ニハ第一ニ着手シ消毒的清潔法ヲ施行ノ件

本案兩件トモ警察官市吏員ヲシテ衛生組合ヲ督勵シ實施セシメ之ガ監督ヲ爲サシムル事トシ其經費支出ニ就テ審議シ豫定ノ通り施行スルコトニ協定セリ

第四回 明治三十六年十二月八日

第四號諮問案

防疫上必要ヲ認メ襪、古紙屑、古綿類、古糸類、古麻、布屑、古敷物、古草、古羽毛、アンペラ、落穀物、落綿類ノ賣買交換若クハ先占ヲ目的トスル營業者ハ一定ノ地域ヲ劃シ該地域内ニ限リ營業セシメ物品取扱所ノ構造ヲ定メ且ツ取扱物品ニ對シテハ消毒方法ヲ施行セシメ消毒施行後ニアラサレハ搬出セシメサルノ規程ヲ設ケントス

本案ハ一身一家ノ利害休戚ニ止ラス延ヒテ市場ノ消長ニ關シ衛生ハ勿論其他ニ及ホス影響尠カラズ實ニ重大ナル問題ナリ此ノ際百年ノ計ヲ建テ將來之レガ施設ニ錯誤ナキ様更ニ一層慎重ニ嚴査討究スル所ナカルヘカラス仍テ次會マテ延期スル事ニ致タキ旨市原顧問ノ發議ニ依リ此ノ種營業者ノ數住居區劃ノ狀勢消毒ニ要スル設備ト經費トヲ調査スルコト、シテ散會セリ

第五章 防疫顧問會諮問要項

第五號諮問案

檢疫醫ノ設置ハ「ベスト」病流行ノ狀勢ニ從ヒ時々増減アリシガ現在ノ狀勢ニテハ幾人ヲ以テ適當トスルヤ

現在醫員ノ配置ハ細菌部、屍體檢案、瀉車檢疫、豫防區域健康診斷ニ從事スル者總シテ四十四名ナルモ區域廣濶ナル現在ノ配置ニテハ實際不足ナルヲ以テ相當増員ヲ要スル旨ヲ濱田警部長澄川事務官ヨリ詳述シ石田衛生課長ヨリ職工徒弟ノ寄宿舎等ニ就テ説明シ各顧問ヨリ質問アリ警部長衛生課長ノ反覆應答ノ上縣ヨリ五名増員シ市ヨリ五名ヲ出スコトニ決シタリ

夫レヨリ前回提案ノ特種營業者ヲ一定ノ地域ヲ劃シ該地域内ニ於テ營業セシムル件ハ北里、朝田、市原顧問ハ個人消毒組合消毒ノ利害得失ニ就テ討議シ北里顧問ハ個人消毒ノ不可ナルヲ極論シ結局是等特種ノ營業者取扱ニ係ル消毒ハ三、四年ヲ期シ市消毒所ニ於テ施行スルコトニ決シ焦眉ノ急トシテ組合ヲ組織セシメ嚴重ナル監督ノ下ニ消毒ヲ勵行スルコトニ決シ其餘ノ細目ハ次會ニ再議シ大體ニ於テ本案ニ同意スルコトニ協定セリ

第二回會議ニ於テ延期シタル第一號案屋上制限ノ件ハ齋藤助役ヨリ指定區域ニ就テ多少困難アル旨ヲ説キタルモ大體ニ於テ各顧問間ノ異議ナクシテ本案ヲ協定シタリ

第六回 明治三十七年一月二十六日

第一號諮問案

海外並ニ臺灣地方ヨリ輸入スル米穀其他ノ食料品及ヒ棉花皮革羊毛等ヲ貯藏スル倉庫ニ於テハ地盤ハ石造又ハ漆喰敲トシ床板ハ取外ツシ得ル構造ニナサシメ鼠族ノ交通ヲ絶タントス

濱田警部長ヨリ本案ノ貨物ヲ貯藏スル倉庫ハ濱濱市内ニ少カラサルモ是等ノ倉庫中尙未タ其地盤ヲ石造又ハ漆喰敲ト爲シ居ラサルモノ多數アリ從テ鼠ノ交通自在ニシテ夥シク棲息スルヲ認メ防疫上遺憾ニ不堪本案ノ如ク倉庫地盤ヲシテ石造又ハ漆喰敲ト爲サシメハ鼠族ノ竄入ヲ避ケ除鼠方法ニ至便ナルヘシト信シ提出シタル旨ヲ

説明シ北里、市原、近藤顧問ヨリ指定倉庫及ヒ指定外ノ倉庫種類ニ就テ質問アリ石田衛生課長ヨリ現在倉庫ノ數百九十三棟アリ其内百五十三棟ハ本案指定貨物貯藏庫ニ屬シ又倉庫内ノ現況ハ石造アリ漆喰敲アリ木板ヲ直接地盤へ繋ルアリ單ニ地盤ノ儘ナルアリ枕木ヲ据へ其上ニ貨物ヲ堆積スルモノアリテ地盤堅固ナラス從テ内外ヨリ罅隙ヲ生シ易ク鼠族ノ交通モ自在ナルヘキコト及ヒ鼠族ノ竄入セル實例ヲ舉ケテ説述シ討議ノ結果本案ヲ協定シタリ

第二號諮問案

客年十二月以降鼠ノ買收著シク減少シ現今約三百頭ヲ出テス之レヲ十二月以前ニ比較スルニ四分ノ一乃至五分ノ一ニ過キス此際除鼠獎勵ノ方法ヲ審議アリタシ

本諮問ハ各顧問討議ノ末左記方法ヲ行フコトニ決シタリ

- 一 當籤者ニシテ當籤番號ヲ知ラサル爲メ懸賞金ヲ請取ニ來ラサルモノ往々アリ因テ當籤番號ヲ公衆ニ悉知セシムル爲メ適當ノ場所へ揭示スルコト
- 二 從來ノ捕鼠器ヲ更ニ八千個ヲ増加スルコト
- 三 相當ノ請負人ヲ擇ヒ公衆ノ便宜ヲ計リ捕鼠ヲ蒐集スルコト
- 四 衛生講話ヲ増催スルコト

第三號諮問案

印度香港清國各港及ヒ臺灣ヲ發シ又ハ以上ノ地ヲ經過シテ縣下ノ諸港ニ入港スル船舶ニ對シ左ノ方法ニヨリ除鼠ヲ行ハントス

- 一 積荷ノ全部ヲ卸シタル船舶又ハ船渠内ニ入ルモノハ船内全部ノ除鼠及ヒ斃鼠ノ搜索ヲ爲サシムルコト
- 二 前項以外ノ船舶ハ食料庫及ヒ料理室ニ除鼠及ヒ斃鼠ノ搜索ヲ行ハシムルコト
- 三 除鼠及ヒ斃鼠ノ搜索ハ積荷全部ヲ終リタルトキ其他ノ船舶ハ投錨フ時ヨリ五時間内ニ着手セシムルコト
- 四 前諸項ニ依リ發見捕獲シタル鼠ハ所轄警察官署へ差出タサシムルコト

第五章 防疫顧問會議要項

第五章 防疫顧問會諮問要項

五 入港後五時間以内ニ解纜スル船舶ハ除外ス
本案ニ對シ濱田警部長ヨリ貨物消毒ノ事ハ當局者ノ苦心スル處ニシテ極メテ困難ナルノミナラス貿易上ニ影響
スル處尠カラサレハ是等ニ就テ顧慮スル所ヲ說キ石田衛生課長ハ北里、岡部、市原各顧問ノ質問ニ對シ稅關倉
庫ニ積入レタル貨物ノ消毒ハ多少貨物ヲ損スル虞アリテ施行シ難キコト並ニ神戸港ニハ本案同様ノ發令アルコ
トヲ詳述シ各顧問討議ノ上本案第二、第五項ヲ削除シ其他字句ノ修正ヲ爲シテ本案ニ贊同セラレタリ

第七回 明治三十七年二月二十三日

第四號諮問案

防疫上必要ヲ認メ市内全般ニ對シ三月上旬ヨリ清潔方法ノ施行ヲ命シ且ツ必要ナル部分ニ限り消毒法ヲ
施行セシメントス

澄川事務官、患者發生ハ舊冬來小康ヲ得タル觀アレトモ有菌鼠ハ本月ニ入りテ既ニ三頭ヲ檢出スルニ至リ防疫
ノ事未タ遽カニ安ンスヘカラサルモノアリ昨年清潔法消毒法モ頻繁ニ實施セラレ市民ノ迷惑察スヘキモノアリ
ト雖トモ在昔此ノ儘ニ日ヲ送ラハ病毒ハ日々潛勢力ヲ逞フシ再ヒ患者發生ノ聲ヲ聞カサルヤヲ保シ難シ仍テ市
ノ經濟ノ許ス限リハ奮テ本案ノ勵行ヲ希望スル旨ヲ述ヘ石田衛生課長ハ北里近藤顧問ノ質問ニ對シ清潔法施行
戸數ノ標準殺鼠劑配布ノ事務ニ從事スル防疫監吏人員等ニ就テ説明シタルニ市原顧問ハ昨年來清潔法消毒法ノ
爲メ市民ヲ煩ハス事頻々ニシテ迷惑一方ナラサルニ際シ近クハ昨年末ノ清潔法アリ亞ヒテ業體ニ依ル清潔法ハ
施行中ニ屬ス今又市内一般ノ大清潔法ヲ行フガ如キハ到底人情ノ忍ビ得サル處ニシテ市民ハ漸ヤク倦怠ヲ生シ
命ニ關レテ又重キヲ置カサルニ至ルヘキヤ必セリ況ヤ軍國多事ノ今日ニ際シ中央政府ヨリハ財政ノ緊縮ヲ命セ
ラレ道路ノ修繕其他市ノ經營事業多クアリテ財政ノ不足ハ如何トモスヘカラス此ノ點深ク諸君ノ洞察ヲ乞フ旨
ヲ詳述シ石田衛生課長ヨリ業體ニ對スル清潔法施行ノ成績ヲ述ヘ鼠族驅除ノ新案トシテ「ズック」又ハ細川紙
ヲ以テ家屋ヲ覆ヒ亞硫酸瓦斯ヲ其内ニ放射シテ鼠族ヲ殺滅スル新案提出者アルコトヲ述ヘ圖面其他ニ就キ説明
アリタルモ本案ハ此ノ際必要ナル場所ニ對シ除鼠的清潔法ヲ施行シ一般清潔法ハ七月及十二月ニ限り施行スル

事トナリ確乎タル成案ハ次會ニ於テ審議ニ付スルコト、シテ散會セリ

第八回 明治三十七年三月八日

第五號諮問案

客年十一月以降檢疫醫四十名檢疫委員五名ヲ以テ各部ニ配置シタリシガ今般檢疫醫二十名減員セラレタ
ルニ依リ左記ノ通り配置ヲ變更セントス

細菌係五名屍體檢案係三名病系調查係一名巡視係二名健康診斷係一名除鼠係一名

計十三名

外ニ市内各警察署ヘ配置醫員七名

周布知事本案ニ就キ審議セントコトヲ望ミ石田衛生課長ヨリ檢疫醫二十名檢疫委員五名ハ今日ノ場合ニ於テ設置
シ置クノ必要アル旨ヲ詳述シ北里近藤顧問ヨリ減員ニ就テ事務ニ支障ナキヤ否ヤ又現今有菌鼠ノ多キ方面ヲ質
問アリタルニ對シ澄川事務官ヨリ應答アリテ尙北里顧問ハ既ニ國庫費タル檢疫醫二十名減セラレタルニ依リ市
ハ三名縣ハ五名ノ醫師ヲ設ケ置カレタシ此ノ上縣並ニ市ニ於テ減員セラル、アラハ或ハ事務ニ支障ヲ生スル虞
ナキニアラサルヲ以テ近藤顧問ニモ充分盡力アランコトヲ望ム旨ヲ述ヘ本案ヲ決定散會シタリ

第九回 明治三十七年四月十二日

第六號諮問案

現今ノ防疫機關ヲ縮少セントセハ其限度如何

濱田警部長是マテ國庫ヨリ支給セラレタル一ヶ月三千圓ヲ二千二百圓餘ニ減セラレタルニ依リ差向キ醫師ヲ減
セントス審議アランコトヲ望ムト述ヘ北里顧問ハ國庫支給減額ヲ縣又ハ市ニ於テ補給セントコトヲ提案シタルニ
岡部顧問ハ縣ハ既ニ過度ノ負擔ヲ爲シ居ル事ヲ說キ石田衛生課長ハ醫師ノ勤務ハ巡視ノ區域ヲ限定セス何レノ
方面ニテモ應急任ニ當ラシメ又屍體檢案ノ場合主治醫ニノミ謀ルトキハ病名ヲ詐リ届出ル弊害アルコトヲ敷衍
シ從來實驗ノ事實ヲ詳述シ夫レヨリ捕鼠獎勵ノコトニ移リ濱田警部長澄川事務官ノ説明アリ市原顧問ハ我自

第五章 防疫顧問會諮問要項

衛ノ事ナレハ絶對的反對ニハアラサレトモ此ノ二ケ年間ニ於テ既ニ數十萬圓ヲ費シ財政ハ困難ニシテ又極論スレハ防疫ハ國家的事業ニシテ地方的ニアラス故ニ我横濱市ニノミ重キ負擔ヲ爲サシムルハ妥當ナラス宜シク國庫ヨリ費用ノ全部ヲ支給アラハ可ナラント述ヘ濱田警部長ハ内務省ヨリ防疫費トシテ一ケ月三千餘圓ヲ支給シ多數ノ職員ヲ採用シ居ルニモ拘ハラヌ清潔法ノ如キハ僅ニ年二回ヲ以テス此ノ二回ハ七月十二月ニシテ防疫の清潔法ナラスシテ普通民家ガ當然行フコトニ屬ス故ニ尙此外ニ二三回施行スルコトニ努メラレタシ國庫ヨリ月三千餘圓ノ金額ヲ支出シ防疫ニ勉ルニ市ハ僅ニ二回ノ清潔法ヲ施行スルニ過キサレニ於テハ甚タ權衡ヲ失シタルノミナラス市トシテ當然ノ義務ナルヲ信スルヲ以テ七月以前ニ於テ今一回施行セラル、樣努力アリタシト說キ終リニ現時除鼠ノ成績ヲ告ケ散會シタリ

第十回 明治三十七年六月七日

第八號諮詢案

鼠族驅除ノ方法トシテ覆袋器ヲ使用シ家屋物置内等ニ硫黃燻蒸法ヲ行ハントスル方法ハ採用スヘキ否ヤ濱田警部長ハ簡單ニ諮詢案ノ要領ヲ說明シ牧山事務官ハ北里顧問ノ質問ニ對シ硫黃燻蒸除鼠法試驗ノ說明ヲ爲シ新聞紙ヲ以テ覆袋ヲ作り二頭ノ鼠ヲ入レ硫黃燻蒸ヲ爲シタル後之レヲ檢スルニ鼠ハ未タ死ニ至ラサルモ踏跟トシテ死ニ瀕スルノ状態ナリシコトヲ說キ湯淺技師ハ朝田北里顧問ノ質問ニ對シ先年除鼠の消毒施行ノ際室内ヲ消毒スレハ鼠ハ攀テ屋根裏ニ潛ミ屋根裏ヲ消毒スレハ床下ニ匿レ現今ノ方法ニテ生鼠ヲ捕獲スルハ殆ト不可能ノコトナリ之ヲ完全ニセントセハ此ノ燻蒸法ニ依ルノ有益ナルヲ認メ消毒ニハ無効ナルモ除鼠ノ方法トシテハ充分ノ効アリ屋上床下ノ區別ナク何レノ處ニ潛匿スルモ此ノ覆袋中ニアル鼠ハ皆斃死スレハナリト述ヘ北里顧問ノ質問ニ對シ石田衛生課長ハ覆袋器ハ神奈川町「ズック」屋ヨリ出願セシモノニシテ費用ハ一坪ニ付幾何ト定ルカ又ハ市ニ雇ハレ日給トスルモ可ナルコト又其使用ハ如何ニ連續スル家屋ニテモ道路又ハ路次アリテ接續ノ絶ヘサル限りハ一時ニ之ヲ行フノ見込ナルコトヲ說述シタルニ北里顧問ハ「ノホト」式酸化炭素瓦斯除鼠法ノ歐洲ニ行ハル、コトヲ告ケ船舶ノ除鼠ニ此方法ヲ採用セハ可ナラント述ヘ尙其應用並ニ費用等細密ニ調査

シ實際之レヲ應用シ得ルヤ否等ヲ研究ノ上後日提案スル事トシ第七號諮詢案ニ移ル

第七號諮詢案

來ル七月ヨリ市内一般ニ施行スヘキ清潔法ノ標準

濱田警部長ヨリ清潔法施行方法一項ヨリ十三項ヲ提示シ審議ニ移リ澄川事務官ハ清潔法施行ノ程度並ニ營體者ノ數大工人夫等使用ノ費用支辨ハ市ヨリ支出ヲ望ム旨ヲ述ヘ石田衛生課長ハ是マテノ成績ニ依レハ旅人宿ハ別段特ニ異ナル點ハ見サルモ木賃宿ハ不潔ナル點ニ於テ旅人宿ノ比ニアラス又倉庫ノ除鼠ハ充分施行シ居ルコトヲ述ヘ湯淺技師ハ殺鼠劑現今ノ成績咬喰數ノ割合ヲ說明シ十三項中一、二ノ修正ヲ爲シタル外本案ニ決シ施行期ハ六月下旬トシテ議了シ散會セリ

第十一回 明治三十八年一月三十一日

諮詢事項

- 一 健康診斷ヲ廢止スルコト
- 二 現今ノ設備ハ年度後モ尙維持スルコト
- 三 殺鼠劑ハ今回ノ清潔法施行後ハ當分廢止スルコト

周布知事ヨリ今回ハ別ニ諮詢案ナキモ既往防疫ニ關スル概況ヲ報告シ併セテ今後ノ設備ニ就テ意見アラハ充分ニ陳述アラン事ヲ望ム旨ヲ告ケ濱田警部長ハ「ベスト」防疫ノ概況ヲ說述シ各顧問質問應答アリテ本案ニ決シ散會セリ

第十二回 明治三十八年六月十三日

諮詢事項

東京市深川區ニ於テ本年四月「ベスト」患者發生以來既ニ十餘名ニ達シ尙ホ蔓延ノ虞アルノミナラス飛テ千葉縣海上郡ヲ侵スニ至レリ本縣ハ同市ト隣接シ殊ニ横濱ハ其對岸ニシテ何時侵入ヲ見ルモ知ルヘカラサルヲ以テ之レガ豫防ノ爲メ此際新施設ヲ要スルモノアリヤ如何

第五章 防疫顧問會諮詢要項

本年一月以降ノ防疫概況ヲ石田衛生課長ヨリ詳述シ「ペスト」患者ハ一昨年終熄以來一年有半全ク發生ヲ見ス有菌鼠モ昨年十一月以降一モ發見シタルコトナク執拗ナル病毒モ茲ニ絶滅ニ歸シタルモノ、如シ然レトモ對岸ノ東京深川區ニ於テハ本年二月以來有菌鼠續發シテ既ニ四十餘頭ニ上リ患者ハ四月以來十餘名發生シ尙ホ蔓延ノ虞アルニ依リ何時侵入スルモ測リ難ク又海外ヨリ輸入ノ病毒何レノ邊ニカ伏在シテ不時ニ發生ノ不幸ヲ見ルヤモ豫メ期シ難シ仍テ充分ニ審議アラシム事ヲ望ムト說述シ顧問ノ應答アリテ左ノ諸項ヲ決議セリ

- 一 今ヨリ殺鼠劑ノ配布ヲ爲シ入梅期ヲ以テ嚴密ニ除鼠の清潔法ヲ施行スルコト
- 二 醫師検査委員一名ヲ増設スルコト
- 三 捕鼠ヲ充分ニ獎勵スルコト

第十三回 明治三十八年十二月十六日

周布知事ハ鼠族買收ノ方法ヲ改ル件ニ付審議スル旨ヲ述ヘ岡部顧問ハ有菌鼠發見者ニ懸賞ノ方法ヲ定メハ妙案ナルヘキ旨ヲ提議セシニ齋藤助役ヨリ辨明アリ結局本提案ハ宿題トシテ次會ニ於テ審議スルコトニ決シ除鼠獎勵ノ方法ヲ一層獎勵スルコトニ決議セリ

湯淺防疫事務官ヨリ既往並ニ現在ニ於ケル殺鼠劑及ヒ捕鼠器ノ配置ニ關スル經過並ニ結果ノ報告アリテ除鼠獎勵ノ件ヲ議シ井上警務長ヨリ横濱市ニ豫防委員五名ヲ設置スル件ヲ審議アリタキ旨ヲ述ヘ今回新ニ縣令發布アリタル結果防疫事務非常ニ繁多ヲ加ヘ現今ノ職員ニテハ之ニ應シ難キ虞アルヲ以テ五名ノ増員ヲ要スルコトヲ說明シ石田衛生課長ヨリ現行豫防法ノ上ヨリシテハ市ハ検査醫員ヲ置クノ明文ナシ故ニ醫師ノ如キモ豫防委員ニ加ヘ防疫事務ヲ分擔セシメタシト說述シ齋藤助役ヨリ醫員備入レハ今少シ時機ヲ見テ施行セント望ミ各顧問之ニ同意見ナルヨリ醫師備入ノ件ハ暫時見合スコト、ナレリ夫レヨリ北里顧問ノ大阪神戸兩市ニ於テ調査シタル流行ノ系統其他ニ就テ演述アリ各顧問ハ次會ノ審議ニ付スル事トシ散會セリ

第十四回 明治三十九年十二月七日

阪事務官ヨリ除鼠成績ニ就テ說明シ審議アラシム旨ヲ告ケ湯淺事務官ハ過去及ヒ現在ノ豫防施設ニ關

シ縷々評論シ其要旨ハ斃鼠ノ届出ヲ爲サス之ニ向テ嚴重ナル消毒法ヲ行フトキハ非常ノ出費ヲ要スルニ依リ發見人ハ他ノ方面ニ棄却スル等ノコトアリテ却テ病毒ヲ傳播セシムルニ至ル是レ策ノ得タルモノニアラス鼠族ノ繁殖力ニ富ム動物ナルコトハ一般ノ認ル所ニシテ民情射幸心深キヲ利用シ懸賞ヲ増大シ買收額ヲ増加スルヲ以テ除鼠ヲ獎勵スルハ其効果見ルヘキモノアラシト述ヘ石田衛生課長ハ北里顧問ノ質問ニ對シ有菌鼠發見ノ場合其處置ニ就テ說明シ北里、岡部、朝田ノ各顧問應答アリテ左ノ諸項ヲ議決散會セリ

- 一 市ノ收容所ニ二百五十人ヲ收容シ得ル設備アルニヨリ本年度限り南吉田町隔離所ハ一先ツ取拂フコト
- 二 捕鼠斃鼠トモ買收ノ際ハ出所ヲ問ハサルコト
- 三 従前ノ費用剩餘ハ買收鼠ノ懸賞ニ補充スルコト

第十五回 明治四十年六月四日

諮問事項

- 一 買收鼠ノ價格ヲ一頭十錢ニ騰スコト
- 二 「ペスト」豫防接種施行ノコト
- 三 戸部方面ノ下水構造ヲ改良スルコト

横濱市ニ於ケル「ペスト」患者ハ三十六年十一月以來其跡ヲ絶チタリシガ本年五月西戸部町ニ該患者三名續發シ豫防區域ノ健康診斷ヲ行ヒ市内一般ニ健康診斷ヲ執行シ普通病者ト雖トモ検査醫ヲ派遣シ検査セシムル事トシ除鼠獎勵ノ爲メ買收鼠ノ價格ヲ高騰セシムルコト、豫防注射ノコト、戸部方面下水改造ノコトヲ審議ノ末(一)買收鼠價格ハ一頭六錢トシ懸賞百圓ヲ五百圓ニ増加スルコト(二)「ペスト」豫防接種ヲ行フ事トシ(三)戸部方面下水改造ハ此ノ際充分ノ浚渫ヲ行ヒ改造ニ就テハ他日更ニ審議ノ上ニ讓ルコトニ決シ散會セリ

第十六回 明治四十二年六月二十二日

諮問事項

- 一 市内各戸ニ飼猫ヲ獎勵スルコト